

新山協ニュース

発行所 新潟県山岳協会
〒940 長岡市学校町1-12-23 室賀輝男方 TEL 0258-32-0428

全国山岳遭難対策協議会に

参加して

三条工業高校 吉田光二

7月14日・15日の両日にわたって、標記の協議会が文部省、警察庁などの主催によって新潟市で開かれた。

第二分科会

登山パーティー側の救助体制の現状と問題点について

第三分科会

学校における登山活動の現状と問題点について

総じて、登山者の未組織、高齢化にともなう諸問題が語られ、反面、救助体制においても高齢化と人材・後継者不足が指摘されていた。

こうしたなかで、無線や携帯電話によるSOSが増加し、ヘリによる出動機動力の増強が求められていることがクロズアップされた。

また、日山協では山岳保険の一般登山者への普及を考えた「ハイカー保険」の新設準備をしていること等が報告された。

私は第三分科会の事例発表を担当したが、ここでその骨子を報告し理解を得たい。

◎ 本県高体連登山部の顧問の約四割が登山歴五年未満

と経験が浅く、全体の約半数が登山歴11顧問歴で、登山経験なしで顧問にさせられている。

責任・負担とも重く、なり手がない。

◎ 高体連として顧問のレベルアップに力を入れているが、登山の安全確保に対する行政側の理解が不足している。

◎ 万一の際の資金面の対策がない。山岳保険は高く、加入は皆無。

◎ 登山環境の整備が遅れている。道標・登山道が整備されていない。希望したい。

全国山岳遭難対策協議会報告

岐阜山岳会 坂井厚

期日 平成5年7月14日/15日

会場 新潟市万代シルバークロム

主催 文部省他 11機関

講演 「ナムチャバルワ登山」

……一筋に求めヒマラヤの碧空に立つ……

文登研・日中合同登山隊長 重廣 恒夫

3年海外へ向かった。感じて

されていない。一部を除いては地元山岳会のボランティアのみで維持されている。登山にあたってのキャンプ場が少なく、トイレの問題も深刻。

◎ 高体連として顧問のレベルアップに力を入れているが、登山の安全確保に対する行政側の理解が不足している。

◎ 万一の際の資金面の対策がない。山岳保険は高く、加入は皆無。

◎ 登山環境の整備が遅れている。道標・登山道が整備されていない。希望したい。

いることは、人間の体力、能力が向上したこと。情報が的確に得られるようになった。自然の猛威があり、戦略を必要とする。

近年の中高年登山に対して、中高年の技術の修得が無い。時間と共に体力も下がり、耐久力も下がっている。

研究協議 第一分科会 近年の山岳遭難救助活動の

高々所では長く滞在できない。7000m以上では衰退現象が起き、自分で認知できない。7200m以上は33日間体重15kg減となった。

マッシュャーブルム、ブロードピーク……アルパインスタイル 9名の内1名脱落。危険性が大きい。登山においては個の強さが要求される。

チョモランマ……45日が限界。以後体力が急激に低下する。

ナムチャバルワ……標高6250m。風速最高80m/S。大西宏隊員の雪崩遭難について。流雪現象。5分後発見。15分後掘出したが死亡していた。国内では15分後であれば75%の生存率（口中に流雪流入）ノア情報を的確に掴むことで、成功率が高くなってきた。

① どうして山に登るか
一生に一度何かに興味を持ち没頭する。易から難へ。頂上から無事に帰ってくる

② 戦略的な山登り
環境変化に対応。高度障害は二日酔い状態に似る。8000mでは行動思考能力が3分の1以下に低下す

③ 退く勇気が必要
④ 隊長は冷静な判断が必要
⑤ 頂上アタックメンバーの選定に他のスポーツとの違いがある。
⑥ 高所登山に学ぶもの
全天候型登山を目指す。トレーニング。正確な判断力は体験の積み重ねから。運・根・勘

⑦ 目標を持つことの意義
隊員の夢を育み実現に導くのはリーダーの役目。

議題
ア、山岳遭難事故の実態と警察の事故防止活動
警察庁 三橋 義和
事故は1988年以降増加している。長野、富山、山梨三県に多い。登山計画書提出率、夏山20%、春山23%、冬山25%。所属山岳会だけでなく積極的な提出を願う。

警察の救助組織
16都府県、76隊、1806名、20山岳、29箇所、常駐は富山のみ。救助出動状況（含民間）27414名、ヘリコプター393機。救助が主役である。外国人向

けパンフレットが必要。ファミリー登山、女性連れ登山の増加。地元救助隊活動が多くなった。
イ、登山と気象情報
新潟気象台 上野 達雄
① 気象情報 ◎平均的状態、極地を知る。◎実況を知る。上空天気図700hpaのデータ入手。◎予報を知る。
② 悪天は持続する
③ 予報の精度 ◎常に最新の情報を利用する。
ウ、これからの山岳遭難救助
日山協 北田 紘一

① 現状の分析 ◎未組織者にみられる自分の状況を把握できない人々。◎救助員の高齢化、後継者不足。
② 目標と未来像 ◎山岳保険の普及（ハイカー保険の新設）将来は未組織にも広げたい。◎救助指導者の養成。◎ヘリ機種重点配置。パイロットの養成。◎5月頃の例で多い低体過症の対応処置他。
エ、新潟県における登山の現状と事故事例
新潟県警 高畑 弘
◎ 登山者の傾向
1988年8・3万人、

現在10万人。レジャー化して、家族連れ、女性連れが多い。首都圏からの登山者が多い。
◎ 救助活動
7箇所、12民間。独自は六日町署のみ。高齢化しているので若返りが必要。
◎ 救助活動
登山パーティー側の救助体制の現状と問題点
第三分科会
学校の現状と問題点
学校における登山活動の現状と問題点
以上

◎ 救助活動
7箇所、12民間。独自は六日町署のみ。高齢化しているので若返りが必要。
◎ 救助活動
登山パーティー側の救助体制の現状と問題点
第三分科会
学校の現状と問題点
学校における登山活動の現状と問題点
以上

第14回北信越国体山岳競技
成年女子、少年女子チーム
東四国国体代表権獲得

第14回北信越国体山岳競技
成年女子、満点で1位。少年男子、定点満点が時間点をカバリー1位。少年女子、定点2つ落して3位。成年男子2位。
総合成績では、成年女子、1位。少年男子、2位。少年女子、1位。（長野と1位を分け合う）成年男子、1位となる。
規定により徳島行のキップを手にしたのは成年男子に続き成年女子、少年女子チームとなり、少年男子、少年女子とも初日の成績が明暗を分けた結果となった。
選手団は、成年男子、小田幸男、瀬賀誠、飯沼聡、中山

友博、(以上岩広山岳会)。川由紀、唐沢えみり(以上、成年女子、後藤邦子(悠峰山の会)、植木美幸(高体連)、加藤晴美(新潟望遠)、森山容江(新潟山岳会)。少年女子、渡辺正之、諸橋宏美、布

わがクラブ ①
我がクラブは学校全体で女子が7割を占めるのに、3Kクラブのためか、顧問に魅力が無いせいか(?!?)男子のみで、1年5人、2年3人、3年3人で活動をしている。日常の活動はあまりやっておらず、天気図を書いたり、コンロで飯を作ったりする程度であるが、月1回は山に行くことを目標にしている。高体連登山部の山行行事に参加する他、部単独の活動として、6月には八海山(新開道)、7月の夏山合宿は後立山縦走(白馬岳ノ爺が岳)、8月には弥彦御滝沢に行った。

長岡商業高校登山部
合宿では暴風雨の中、鹿島槍ヶ岳に登るなど、天候に恵まれない日もあったが、天狗山荘では大学生から天体の話を聞くこともあり、思い出と

川由紀、唐沢えみり(以上、三条東高校)。選手団の健闘と皆さんの応援をお願いいたします。(森 庄一)

は送別登山、冬にはスキー訓練、3月には春山合宿がある。また我々は山行の他、アマチュア無線の資格を取ることも取り組み、昨年取った2年生は夏山でQSOを出したし、1年生も全員が取る予定である。顧問の考えとしては、初歩でもいいから、どんどん山を好きになってもらい、全シーズン、全フィールドで活動出来る部員であって欲しいと思っている。今後とも安全を第一に山の色々な楽しみを皆

なつた。また、事故も無く全員が完歩出来たことは自信と成った。(我が部は2年前に飯豊合宿で事故をした苦い経験がある)

今後の予定としては、秋には送別登山、冬にはスキー訓練、3月には春山合宿がある。また我々は山行の他、アマチュア無線の資格を取ることも取り組み、昨年取った2年生は夏山でQSOを出したし、1年生も全員が取る予定である。顧問の考えとしては、初歩でもいいから、どんどん山を好きになってもらい、全シーズン、全フィールドで活動出来る部員であって欲しいと思っている。今後とも安全を第一に山の色々な楽しみを皆

(稲田 清二)

第48回 東四国国体 監督・選手名簿

平成5年10月24日~28日

種別	選手監督	氏名	所属(学校・勤務先等)	住所
成年女子	監督	後藤 邦子	悠峰山の会 新潟日報社	新潟市東中島3-11-4-203
	選手	植木 美幸	高体連 新潟市立高志高校	新潟市藤見町2-26-31
	"	加藤 晴美	新潟望遠 松沢動物病院	南蒲原郡中之島町大字中条新田乙770
	"	森山 容江	新潟山岳会 新潟東高校	新潟市山の下町15-9
少年女子	監督	渡辺 正之	三条高校	南蒲原郡田上町吉田新田丁202
	選手	布川 由紀	三条高校3年	三条市上保内乙54-4
	"	諸橋 宏美	" 3年	三条市上保内乙137-6
"	唐沢 えみり	" 2年	南蒲原郡栄町北湯362-4	
成年男子	監督	小田 幸男	岩広山岳会 岩船地区広域事務組合消防署消防本部	村上市大字西興屋662-2
	選手	飯沼 聡	岩広山岳会	岩船郡朝日村大字岩沢986
	"	瀬賀 誠	"	岩船郡荒川町大字海老江927
	"	中山 友博	"	岩船郡朝日村大字須戸875

高校総体全国大会結果

男子 三条高校 (16位)

女子 新潟中央 (37位)

8月1日~5日の間、栃木県・日光山系の男体山、白根山、太郎山を会場にして開催された。結果は、男子は今一步のところ、女子は、体調が優れず、体力点で大きく減点された。詳細は下記の一覧を見て下さい。

学校名	都道府県名	体力	歩行	装備	設営撤収	炊事	気象	自然観察	計画記録	救急	マナー	合計点	順位
安曇川高校	滋賀	23.6	7.5	10.0	10.0	5.0	6.1	7.0	9.0	5.0	5.0	88.2	優秀校
三条工業高校	新潟	22.0	7.5	10.0	10.0	4.5	5.9	5.5	7.5	4.5	5.0	82.4	16
高陽高校	広島	25.0	9.0	8.0	9.0	5.0	5.1	7.5	9.5	5.0	5.0	88.1	優秀校
新潟中央高校	新潟	10.0	6.0	7.0	8.0	5.0	5.2	6.5	7.5	5.0	4.5	64.7	37

秀峰山岳会 望月 力氏 山岳協会へ寄付

三条市下須頃、アウトドア用品販売卸モチヅキ(望月力社長)では、山岳界の指導員、国体選手などの養成に役立ててほしいと、三十万円を新潟山岳協会に寄付された。

同社は登山用具を中心にアウトドア用品を取り扱っており、社長の望月さんは子どものころから山が好きで、秀峰山岳会の会長を務めている。六月末に新社屋が完成したが、竣工披露は行わず、取引先などからの祝儀を「やっかいになった気持ちとして」、山岳協会に寄付したものの。望月さんは山岳協会副会長のあと、同参与を務めている山の大ベテラン。

県山岳協会発足当初から、協会の執行部として関与し、道楽が困じた商売から、県山協及び多くの日本の海外遠征隊の要請に關与し、登山用品の考案、試作に協力してきている。息子さんも(山登りはしないが)後継者として同職に専念しているし、今後も陰ながら協力し、努力したいと考えられている。

モチヅキからの善意は、7月30日(8月1日の3日間、新発田市・二王子岳(標高1421m)で開かれた北信越国体に、少年の部に出場した

三条高校と三条東高校の強化資金に活用された。

女子の部に出場した三条東高校は、総合優勝で本国体の出場を決め、望月さんの善意が早速役立つた。

望月さんの新社屋は鉄骨三階建て891平方メートル。一階が事務室、出荷作業場、二階、三階が製品倉庫で、三階の一部がショールームとなっている。

東北地区海外登山研究会の 開催案内

開催案内

- ◎ 各県登山隊の報告、計画(スライド等)
- ◎ 最近のヒマラヤ登山事情 日本ヒマラヤ協会 山森 欣一氏
- ◎ 高所医学・生理学の基礎 筑波大学教授 浅野 勝己氏

記

1. 期日 平成5年11月20日 (土)・21日(日)
2. 会場 胎内パークホテル 〒959-128 新潟県北蒲原郡黒川村夏井 電話0254-4813321
3. 内容
 - ① テーマ別討論
 - ② 参加費 1泊2食 9000円 日帰り 3000円
 - ③ その他懇親会費として 3000円
 - ④ 申し込み・問い合わせ先

海外登山委員会

田中 純夫まで 〒9551 新潟市川岸町2丁目13-7 電話0251-26712743

理事会報告

6. 日程は、11月20日午後2時(21日午前12時)となっています。夜の懇親会で各県のヒマラヤ登山家と交流することが出来ます。

◎ 北信越国体の報告
第14回北信越国体の結果報告(成績は78号に掲載済) 東四国国体の合宿日程と役員への協力依頼。

◎ 中国青海省国際高校生登山交流大会の報告

藤井信隊長より青海南山4472m登頂の報告と全日程7月27日(8月16日)の詳細なる報告。

◎ 次年度も中国へ高校生遠征隊派遣の承認。

◎ 各委員会より前期行事の報告。

◎ 指導委員会より スポーツ指導員への移行補講、10月17日(日)新潟市にて実施。

◎ 地区指導員の認定。

◎ 1種指導員1名、2種指導員7名合格の報告。

◎ 人工登攀会場の維持協力費(ボード使用料) 未加入員 年間 3000円

1日使用料 年間 5000円 北信越国体で使用ボードの利用方法について。

◎ 三条秀峰山岳会の望月力氏より30万円協会へ寄付の報告。

◎ 40回実施弥彦松明登山に功績のあった花井 馨氏へ感謝の盾贈呈したことの報告。

◎ 加入団体の申請案件協議。

◎ 今後の各委員会事業予定報告。

◎ その他